

鳥取こども学園 学園だより



第 18 号
2005年12月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

創立百周年を迎えます。感謝です。 子どもたちに神様のご加護をお祈りします。

「今日夕ヒデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになつた。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼いい葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけて下さるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」
(ルカ・二二―一―二三)

鳥取こども学園 園長 藤野興一

メリークリスマス!

十一月二十五日、創立百周年記念事業として国の施設整備交付金を申請していた乳児院建設の内示がありました。半年以上も遅れて、定員二十名から十五名に減らしての大幅な減額内示ではありましたが、本当に感謝です。

社会福祉法人鳥取こども学園は、一九〇六(明治三九)年一月二三日、孤児等恵まれないこども達の養育事業を開始して以降、鳥取孤児院から鳥取育児院・児童養護施設鳥取こども学園、保育所鳥取みどり園、情緒障害児短期治療施設鳥取こども学園希望館、子ども家庭支援センター希望館、自立援助ホーム鳥取フレンド及び倉吉スマイルを設置運営してまいりました。

二〇〇六(平成一八)年には、創立百周年を迎えます。今、私たちは、創立百周年記念事業として、乳児院(鳥取こども学園乳児部)の建設を進めようとしています。

創立者の尾崎信太郎鳥取孤児院・育児院長、それを助けて現場で奉仕された齊藤文太郎・里う夫妻、藤野竹蔵・たよめ夫妻、尾崎悌之助院長・

鳥取こども学園理事長と藤野武夫園長・とり夫妻、尾崎良一理事長と砂川晋治園長、現在の理事長尾崎徹子と私へと引き継がれて来ましたが、全て、日本キリスト教団鳥取教会に連なるキリスト者の人たちです。

鳥取こども学園創立の精神は、次の言葉で象徴されるキリストの愛です。

「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語らうとも、愛がなければ、わたしは騒が



H18.9 乳児院新築完成予想図

しいらう、やかましいシンバル。たとえ、予言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようと、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持つていようと、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人々のために使い尽くさうとも、誇らうとしてわが身を死に引き渡さうとも、愛がなければ、わたしに何の益も無い。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。失礼をせず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を言はず、真実を喜ぶ。すべてを恐び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。」
(コリント人への第一の手紙 第一三章一―八)

私達は、慈善事業の時代、制度も何もない時代から、神様の愛と奇跡を信じて続けられて来たキリスト教社会事業の歩みを引き継ぎたいと思います。私達は、こどもを飯のたねにする「福祉屋」にはなりたくありません。クリスマスにあたり、先輩たちの労苦に学び、感謝し、神様のご加護をお祈りします。

法人本部

感謝！国から「乳児院（親子愛着センター）及び一時保護所」建設工事の内示が届きました。

一、平成十七年度に建物を建て、平成十八年四月一日開設を目指して計画し、国に協議していましたが、この度国からの内示がありました。ご支援いただいた関係者の皆様に心よりお礼申し上げます、感謝申し上げます。

内示の時期が十一月末になったことにより十七年度中の建設は不可能となり、十七年度に二十％、十八年度に八十％の計画で、平成十八年九月一日開設の計画としました。

定員も、国の指導で二十名から十五名に落とし、その分大巾に補助金・交付金が減りました。更に既存の関連建物の大規模修繕も申請していましたが、認められませんでした。

鳥取県には定員二十名の乳児院が県西部にしかなく、東部で親子分離された母子にとって、西部まで通って再統合を図るには相当の障害となっていること、乳児院と養護施設の養育の連続性や、母子

愛着センター的機能を持った乳児院の開設が県東部に求められていたことに応えるものです。

《建築計画の概要》

総事業費

一六三、九八六、〇〇〇円

内訳

1 乳児院新築（木造・一部鉄骨二階建）

乳児院計 一一五、六九四、〇〇〇円

乳児院本体

六五、〇〇四、〇〇〇円

親子訓練室

八、四三三、〇〇〇円

シヨートステイ

二四、〇〇六、〇〇〇円

初度調弁

九、〇〇〇、〇〇〇円

設計監理・外構等

九、一五二、〇〇〇円

2 養護ホーム改築（木造二階半分舎築）

養護施設改築計

四一、六五二、〇〇〇円

老朽改築

二七、二〇八、〇〇〇円

親子訓練室

六、九九六、〇〇〇円

設計・外構・解体

六、四四八、〇〇〇円

初度調弁 一、〇〇〇、〇〇〇円
3 管理棟修繕 六、六四〇、〇〇〇円

《資金計画》

国庫交付金

四六、一六七、〇〇〇円

鳥取県補助

一三三、〇八三、〇〇〇円

鳥取県任意補助

六、一三八、〇〇〇円

借入金 五〇、〇〇〇、〇〇〇円

法人負担

三八、五九八、〇〇〇円

☆鳥取市補助一四、六一〇、〇〇〇円は、借入金返済という形で、お願いできること。

☆別途工事等その他で

三、五九一、〇〇〇円

二、学園墓地の改修

鳥取市丸山に「鳥取育児院の墓」があり、今でも時折、学園出身者の方の納骨式をとり行っています。その墓地の改修が必要です。

一、〇〇〇、〇〇〇円

三、鳥取養育研究所の創設

一、〇〇〇、〇〇〇円

四、「創立一〇〇周年記念誌」の発行及び記念式典の挙行 三、五〇〇、〇〇〇円

〈二〇〇六（平成一八）年

十一月十八日を予定〉

五、寄付金募集及び一万人の「鳥取こども学園後援会」の組織化にご協力を。

1 募金委員会

黒川和子、中井政美、浅井慶紀、尾崎淑子、藤野興一、入江一枝、竹本芳宏、川口孝一、田丸敏高、尾崎英二、赤山善男、石谷暢男、清水雅彦、縫谷昌生、那須昭美、山中捷一、涌本祐之、井上恭子、中西 徹、東 邦子、松原 実、仁保統一、中尾廣太郎、西尾美智子

（募金委員長 黒川和子）

2 創立百周年記念事業総事業費は

一七四、〇七七、〇〇〇円となります。

従って 募金目標を

五〇、〇〇〇、〇〇〇円

としました。

別途募金委員会からのご案内が行くと思えます。誠に恐縮ですが、事情をおくみ取りの上、創立百周年に向けての募金にご協力お願い申し上げます。

児童養護施設 鳥取子ども学園

学園前の桜並木もすっかり色づき冬の到来を感じる中、子ども達は、あいかわらび元気な声をあげています。現員四十三名。今年は幼児と小学生が多く、生活に追われたり、宿題をみたり、学校行事に参加したりとあわただしい毎日の繰り返し。学園を離れ一日のびのびと過ごすことは、職員も子ども達も唯一の楽しみです。普段見せない子ども達の新たな発見や、底抜けの笑顔にこの喜びをいつまでも絶やすことなく育って欲しいと心より願います。

いつも元気な中一 Aちゃん

私たちは、さくらホームで秋休みに姫路セントラルパークへ行きました。姫路セントラルパークは去年も行ったのですが、昨年とは違い、フリーパスで乗り物に乗りました。昨年は、六回だけしか同じ乗り物に乗れませんでした。今年、何回でも何度も同じ乗り物に乗ってよかったです。その中で、私たちは、二つのチームに分かれました。「絶叫チーム」と「のほほんチーム」です。絶叫チームは、姫路セントラルパークの中で一番怖

いディアブロ、そしてフリーフォールに乗ったのです。実際その二つ両方に乗ったのは、たったの四人でした。あまりの怖さに涙が出てしまうほどです。のほほんチームは、観覧車やいもりんすというゆつくりなジェットコースターなどに乗り、笑顔が絶えませんでした。サファリパークもあり、帰りにちよつと時間があつたので、車でのサファリ、行きたい人はオー

キングサファリにいきました。たくさん動物が見れて楽しかったです。帰ってから、みんなピザを食べました。小・中学生は、おやつをたくさん食べたにもかかわらず、バクバク食べました。このホーム行事は、昨年と同じでしたが、今年、もっと楽しかったです。



人はオーキングサファリにいきました。たくさん動物が見れて楽しかったです。帰ってから、みんなピザを食べました。小・中学生は、おやつをたくさん食べたにもかかわらず、バクバク食べました。このホーム行事は、昨年と同じでしたが、今年、もっと楽しかったです。

なー
《コメント》
お金はかかるけどフリーパスでこんなによろこぶのだったら、来年も考ええるかなー

ドイツの森に行く途中に

わんぱく盛りの五年 R 君

十一月五日にドイツの森に行きました。六時三十分起きて七時三十分ホームを出ました。ぼくは、三十分くらいたつてから先生に何キロと聞くと百キロと言ったからびびりました。行く途中に、ぼくと一君とNちゃんが、ふるさと・われは海の子・もみじ・冬景色・春の小川を唱っていたら、先生が、「R君見んさいな。」と言ったから見たら、山の高い所を走っていたからおもしろかったです。後五十キロぐらいになった所ですごい霧があつて、太陽が見えなくなったら、のりちゃんが、「太陽がなくなつた」とか言ったら、先生が「太陽がなくなつたら真っ暗だぞ」と言っていたのがおもしろかったです。それから坂道をおりている途中に耳がキンキンしていたけど、だんだん治ってきました。それから一時間ぐらいでドイツの森に着きました。いろいろあつておもしろかったです。また行きたいな。

《コメント》
子ども達にこちらもたくさん喜びをもらつたな。



行 事



【学園関係】

- 6月24日 プラム狩り招待(鳥取砂丘子ども園)
- 7月28〜30日 鳥取県児童養護施設合同キャンプ(鳥取砂丘子ども園)
- 8月28日 劇団飛行船・マスキュージカル「忍たま乱太郎」招待(鳥取市民会館)
- 8月1日 希望館 キャンプ(安徳の里)
- 2日 明治大学「サマーコンサート」ボランティア
- 6日 里親ふれあい事業(たんぼり荘)
- 14日 OB焼き肉交流会
- 22日〜23日 中国地区児童養護施設球技大会参加(広島)
- 9月30日 希望館・通所部門 スポーツ大会
- 10月14日 希望館・通所部門 秋の遠足(田尻港)
- 15日 児童ふれあいのつどい(しらはま交流センター)
- 11月29日 いちご苗の植え付け招待(鳥取フイオンスクラブ)
- 19日 鳥取シンフォニック・ウインズ定期演奏会招待(鳥取市民会館)

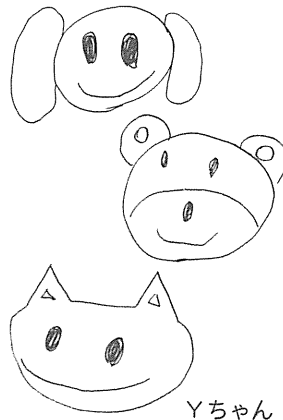


情緒障害児短期治療施設

鳥取ごども学園

希望館

希望館開設以来、こんなに子ども数が少ないのは始めて。現在十八名。ゆったりできるというのはとてもない。子ども達と心の格闘の毎日です。



Yちゃん

男子ホームと女子ホームで過ごす

フリーになった 吉田信彦

ホームから少し離れて、なんとなく感じるがあります。思春期の入り口や、まったただ中にいることもたちと一緒に生活していました。つきあった期間は、彼女らが一人の女性、男性になって行く時だったのだな、と。

現代的ではなくて怒られるかもしれないですが、「男は男らしく、女は女らしく」という持論があります。両性それぞれに格好良い形があると思うのです。それぞ、ごもたちに教わるがありました。

風邪をひいて寝込んでいたとき、女の子が冷たい飲み物を運んできてくれたことがありました。たおやかで細かい心配りが自然とできるものだな、と感心しました。普段、なよなよとしている男の子が、いざ舞台上に立ったとき、しっかり発表できた時は、ああ、男たるもの、しっかり背中を語っているなあ、と感心しました。

親として、思春期の男子、女の子とつきあうのはずいぶん先のことになると思います。職員として、彼ら彼女らと過ごしたことを、将来思い出して、どんな気分になるのだろうか、と不思議に、興味深く思っています。

私は中学三年生で、のぎくホームの中で一番年上です。のぎくホームは、子どもが四人で少ない人数ですが、その人数に負けない位の明るさにぎやかさを持っています。

中三 受験生Uさん

私は、本を読むことや描くことが好きで、毎日欠かしたことがありません。

私は、この時が、一番心の休まる時とおもいます。でも、私は受験生なので、進路の事などいろいろ決めなければならぬ事がたくさんあって、あまり時間が無いけれど、休憩の時間に読んだり描いたりすることを続けていきたいと思っています。

私は、本を読むことや描くことが好きなので、将来は、「絵や本の関係している仕事につけたらな」と思っています。そのためは、高校受験というものがあるので、勉強を頑張りたいです。そして、未来に向かってはばたいいきたいと思っています。

I can fly!! ~ never give up ~



Aさん

【鳥取みどり園関係】

6月5日 鳥取みどり園ハザー

10日 時の記念日(綾木時計店、小谷時計店、高垣時計店見学)

12日 私立保育園保護者会連合行事(ソフトバレーホール大会)

18日 参観日(保育参観、育児講座) 講師 田中美幸氏

7月6日 プール開き

7日 セツまつり

21日~22日 個別懇談会

28日 卒園生のついで

8月3日 サマーコンサート(名古屋音大生による)



納涼祭(保護者会主催)

6日 プール納め

9月11日 仕事会

15日 敬老の日のついで

16日 風紋館ディサービス訪問(5歳児)

23日 運動会

保育所

鳥取みどり園

園長 入江一枝

私の子どもの頃は、生活は貧しくとも心は豊かだった。遊びの行動範囲は広く学校が終ればランドセルを放り投げるや遠出し、野山を駆け廻った。自然・人間と触れ合い、仲間同士で遊びを創り、ヘトヘトになるまで自然と戯れ、日没が家に帰る合図。その時はわからないまでも人間社会のいるのは何かを学習し、家路についたものでした。でも今の子ども達はどうでしょう。豊かになった反面、遊びの行動範囲はないに等しい。確かに時代は変化し、昔の様にはできない。しかし、子ども達は遊びの中でことばを覚えたり、手や体を使ったり、空想、創造したり、更には、意欲的にチャレンジすることや協力することを知り、他の存在を知り、自己をコントロール



ロールする力をつけ、人間関係をつくり、社会のルールを学んでいく…。夢中になって遊んだ豊かな時間が大きくなった時に、自分の好きなことを見つけだし、自分の「したい」という意志に基づいて主体的に行動することが出来る人になるのではないかと考える。そこで当園では、子ども達が興味をもって主体的に、夢中になって遊ぶことが出来る環境づくりはどうあるべきなのだろうか、など、子ども達が遊びながら「生きる力」を身につけていくことができるよう試行錯誤しながら取り組んでいる。

去る十月二十五日に鳥取市同和保育推進指定保育所としての取り組み、「遊びを豊かにする保育環境を考える」を公開をした。

保育園生活で思うこと

看護師 前任 朱美

先日、友達の出産祝いに行きました。病院の布団の上で、産まれて幾日もたない我が子を愛おしそうに抱く彼女は、もつすつかり母親の顔をしていました。遠い昔、私自身も始めて我が子を抱いた時、「私達の所へ産まれて来てくれて有難う。元気でスクスク育ってね。」と命

の大切さを身を持って感じ、胸が熱くなる思いがしたことを思い出しました。そんなんです。子どもが産まれた時のあの感動を、どのようにしたら持続させることが出来るのでしょうか。実は、このことについて、保育の現場で自問自答する毎日です。

ある小児科の先生は、「子どもは病気をしながら育つ。病気に罹って免疫を作

りながら育っていく。だから病気は移ってかまわない。ワクチンですませれるものは、ワクチンで!! 今、流行する病気はやむをえない。」とおっしゃっていました。その通りだと思えます。が、やはり中耳炎や肺炎を併発し入院したり、長期に渡っての治療を余儀無くされることはなるべく避けたいと思うのも親心です。

健康な体を育てること。そのためには、基本的な生活習慣を身に付けることが大切です。早寝早起きをして、朝食を楽しくおいしくしっかり食べる。そして、元気に生き生きと遊ぶ。集中力や体力がつき、大きな怪我をしなくなります。便通も良くなり、夜十分眠ることで成長ホルモンの分泌も良くなります。知恵も、人を思いやる心も育ってきます。こんなに良いことはかなりの基本的な生活習慣について、今一度、一緒に見直してみませんか!!

10月3日 交通安全教室 (保護者会主催)



25日 鳥取市同和保育推進指定保育所公開保育実施 (2歳児2クラス、3歳以上児)

26日 子育て支援センター「育児講座」講師 奥村暁美氏

30日 私立保育園保護者会連合行事 (自然の中で親子でふれあおう…出会いの森)

30~11月2日 保育体験実習 (鳥取東高2年生)

11月8日 焼きいも大会

14日 徒歩遠足 (子どものみ) (3歳以上児…おおち谷公園)

17日 感謝祭 (3歳以上児…さつま汁作り)

24日 6歳臼歯健康講座 (5歳児)

講師 今田哲哉氏



子ども家庭支援センター 希望館

平岡朋洋

用がありホームに行ったある日のこと
です。玄関を開けるとリビングのテーブルのところにいた子どもが椅子からおりて、ただたこやつてきました。斜め上を見上げた顔は、みるみる表情が崩れ、涙が溢れていきました。立ちつくすとはこの姿をいうのだと思いました。ごはんをいっばいに溜めた口は半分開いたまま、泣き声をあげるのです。「おかあさんがいいー」と。その子のころには、どのようなお母さんが映っているのでしょうか。

子ども家庭支援センター「希望館」には、さまざまな方々からの電話や来所での相談があります。育児のストレス、家庭や学校での問題、子どもの発達の遅れについてさまざまなこと、悩んだり迷われ、辛さや悲しみや怒りを抱えておられます。その人が何を考え、どう感じているのか。相手の世界を知りたいという思い、自分の世界を伝えたいという思い。ここにあっては常に相互のこころの交流だと思っています。

たとえば、人間関係での怒りのなかにある関わりたいがゆえの悲しみ。たとえば、自責感のなかにあるやさしさ。たとえば、関係性に傷ついた人の、自己を開示したいという思い。たとえば、こころの行き交いの実感。たとえば、社会との接点。ひとつのつながりが、他のつながりを支える力になるのだと思います。ドアが開いたときの期待、混乱のなかでの希望は、互いの世界がつながったとき、かつての願いとなり、当たり前のものとなるはずで。

支援センターでは、二十四時間体制の相談活動(夜間は電話対応のみ)のほか、鳥取県子育てSOSネットワーク、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取(CAPTA)の事務局などの地域支援活動を行っています。それらが広い範囲で機能するよう、他機関や地域の方々と協力・調整しながら、より地域に根ざした支援の輪となるよう活動しています。来年の九月二十八・二十九日には、全国児童家庭支援センター協議会総会が鳥取で開かれることになりました。子ども家庭支援センター「希望館」が事務局となり開催されます。



自立援助ホーム 鳥取フレンド

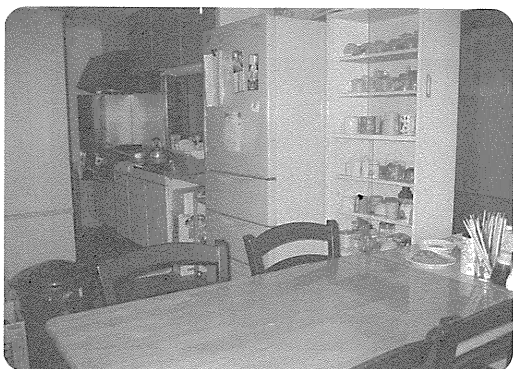
山中友子

今年度は、場所を西町の一軒家に移し、定員も今までの半数の六名(男女含む)としてスタートしました。四月に男子二名入所し、五月に女子一名退所、七月に一時保護で一名入居し、鳥取フレンドで、現在六名が生活をしています。

三月まで本園と同じ敷地内で生活していた時と変わったことは、まず、施設内の子どもたちや職員と距離を置くことができた事で、特に本園退所後フレンドを利用する子どもにとっては、はじめと

り、次のステップに行き易くなってきたと思います。と同時に職員への意識も社会へ向き易くなってきたと感じています。

しかし、部屋数も少



なく、定員六名でいっばいとなり、緊急時の受入が難しくなった事があります。また、職員の勤務体制も、住み込みから通勤になった事も変化ですが、これは、ホームのみんなが適応してきていると感じています。OBが年々ふえていく中で、緊急時の受入や対応もニーズを増し、この点については、今後の課題と認識しています。

今年七月より、鳥取更生保護女性会(山本和子会長)の会員の方による夕食作りボランティアをして頂いています。一ヶ月に一回、たいていは三名の方が作って下さり、毎回感謝をして頂いています。多くの支援に支えられていることを実感し、改めて感謝致します。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2005.6.1~11.30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
赤 山 善 男	岸 律 子	田 中 佳 代 子	福 田 光 明
浅井慶紀・富美子	木 本 正	田 中 政 仁	福 田 眞
東 邦 子	久 野 芳 治	田 中 儀 衛	福 永 とみ子
穴 井 篤 子	蔵 本 美 知 子	谷 口 繁	福 永 裕 子
雨 河 一 就	郡 孝 幸	田 中 耕 自	藤 井 喜 臣
荒 木 康 文	小 谷 伸	谷 口 博 文	古 莊 信 子
池 内 泉 子	小 谷 寿 子	谷 口 義 明	本 間 正
池 田 晴 隆	小 谷 怜	谷 詰 万 寿 子	牧 田 文 子
石 井 衛	齊 藤 皓 彦	玉 木 敏 久	巻 田 豊
石 河 ひろみ	道 祖 尾 博 子	田 丸 敏 高	松 岡 京 子
石 田 文 三	坂 井 芙 美 子	束 原 克 美	松 谷 ポ ン プ (株)
伊 谷 伊 津 子	澤 田 敬	土 江 浜 代	松 原 菜 津 子
市谷経哉・成子	山陰酸素工業(株)鳥取支店	(有) 常 田 薬 局	松 本 勲
因幡安田ひまわり保険	(有)山陰予防医学研究所	天 徳 寺	三 木 康 二
入 江 一 枝	自然を守るみどりの会	鳥取教会 無名氏	三 宅 浩
(株)岩田兼商店	柴 田 尚 美	(株)鳥取銀行	村 田 志 津 子
岩 田 弘 美	柴 田 妙	鳥取市仏教会	森 澤 直 義
奥 羽 徳 行	清 水 あや子	鳥取白バラ乳販(株)	盛 田 和 子
大 井 工 務 店	霜 田 稔	戸 村 誠	安 本 良 栄
大内建設株式会社	正 林 督 章	(株)中井脩	山 内 省 二
荻 原 医 院	白 井 道 子	中 嶋 哲 一	山 口 登 貴 子
尾 崎 建 彦	末 広 中 村 歯 科 医 院	中 谷 志 津 枝	山 田 金 庫 店
海 陽 亭	杉 村 英 子	永 原 裕 人	山 田 太 郎
叶 原 工 筆	綜 合 印 刷 出 版 (株)	西 尾 美 智 子	山 根 一 昭
金 田 隆 臣	大雲院地藏盆 子供夜店一同	(株)錦工務店	山 本 博
川 口 孝 一	ダ イ ゲ ン 眼 科	仁 保 統 博	湯 村 國 光
川 口 敬 恵	大 源 夏 美	浜 田 久 美	湯 村 正 仁
河 田 瑛 子	高 槻 知 子	林 敬 二 郎	無 名 氏
川 端 勇 次	琢 磨 会	林 義 雄	
菊 地 ト シ	竹 本 薫 子	福 嶋 巖	
きむら耳鼻咽喉科医院	竹 本 伸 子	福 田 源 次 郎	

以上133件、総額9,142,812円の後援会費・寄付金が寄せられました。心より感謝申し上げます。

物品寄付者 (2005. 6. 1~11. 30)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
青木 一就	シオン会	土井 清	西原 光夫
雨河 一宇	資生堂 社会福祉事業財団	徳田 強	フェニックス鳥取店
石谷 一宇	下石 洋子	鳥取家畜保健衛生所	福田 眞
海藤 ひろみ	下場 ルミ	鳥取城北高校PTA	福田 光明
金 田	大 樹 寺	鳥取鮮魚仲買人組合	藤田 昭太郎
川北 奈積	高田 紀子	中 井	丸山 順子
日下部 美津子	田中 千津子	西尾 達也	メイプル
光琳 グループ 猪口 吉野	谷口 信子	西尾 正隆	奈田 典久
佐竹 義人	田村 佳子	西尾 素行	

今年もOB会、楽しかったです。

一年に2回行っている恒例となった学園を卒園した子ども達のOB会です。

8月に焼き肉を囲んで約35名が集いました。数年前と比べ、集まる年齢層がぐっと若返っており、その日を楽しみにしてくれています。学園を離れ頑張っている日頃の悩みやストレスを忘れ、励まし合う楽しいひとときです。お盆に家に帰れなかった在園の子ども達とも交流をしています。久しぶりに見せる卒園生の顔を見て職員も喜びひとしおです。「〇〇が来るんだったら私も行く」という声をよく聞きます。みんなで誘い合って一人でも多く顔を見せて欲しいですね。

*毎年 1月2日・8月14日 午後6:30~です。



会費・寄付金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎倭子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考へてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。